

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当第2四半期末 (2021年1月31日現在) | 前期末 (2020年7月31日現在) |
|-------------|---------------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 13,584,423 | 7,437,409 |
| 固定資産 | 2,685,767 | 2,659,018 |
| 有形固定資産 | 1,750,853 | 1,768,670 |
| 無形固定資産 | 212,010 | 198,747 |
| 投資その他の資産 | 722,903 | 691,600 |
| 資産合計 | 16,270,191 | 10,096,427 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 10,097,333 | 2,837,577 |
| 固定負債 | 1,852,002 | 2,350,970 |
| 負債合計 | 11,949,336 | 5,188,548 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 4,310,622 | 4,895,050 |
| 資本金 | 2,037,631 | 2,033,776 |
| 資本剰余金 | 1,816,430 | 1,812,574 |
| 利益剰余金 | 456,560 | 1,048,698 |
| その他の包括利益累計額 | 8,306 | 9,625 |
| 新株予約権 | 1,926 | 3,204 |
| 純資産合計 | 4,320,855 | 4,907,879 |
| 負債・純資産合計 | 16,270,191 | 10,096,427 |

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当第2四半期(累計) (2020年8月1日から 2021年1月31日まで) | 前第2四半期(累計) (2019年8月1日から 2020年1月31日まで) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 20,393,054 | 6,452,431 |
| 売上原価 | 3,101,784 | 1,331,707 |
| 売上総利益 | 17,291,269 | 5,120,723 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,373,090 | 6,706,178 |
| 営業利益 | △ 81,821 | △ 1,585,454 |
| 営業外収益 | 40,288 | 30,456 |
| 営業外費用 | 7,667 | 23,527 |
| 経常利益 | △ 49,199 | △ 1,578,525 |
| 特別利益 | - | 61,494 |
| 特別損失 | 965 | 600 |
| 税金等調整前四半期純利益 | △ 50,164 | △ 1,517,630 |
| 法人税等 | 396,756 | 18,440 |
| 四半期純利益 | △ 446,921 | △ 1,536,070 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | △ 446,921 | △ 1,536,070 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科目 | 当第2四半期(累計) (2020年8月1日から 2021年1月31日まで) | 前第2四半期(累計) (2019年8月1日から 2020年1月31日まで) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 691,278 | △ 983,284 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 76,418 | △ 535,657 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,814,900 | △ 529,751 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,698 | 2,345 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,431,458 | △ 2,046,348 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,282,564 | 4,316,695 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,714,022 | 2,270,346 |

部門紹介

機能性素材 (B to B) 事業

鶏卵・野菜・緑茶・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探索し、科学的検証に基づいた素材開発を行っています。

通信販売 (B to C) 事業

当社及び株式会社フューチャーラボのサプリメント、化粧品等の各製品をテレビ、ラジオ等の広告媒体を通じて販売しております。

バイオメディカル事業

創薬事業、医薬品・診断薬開発目的のための抗体受託作製、及び各素材・製品等に関して分析・効能評価試験を行っています。

株主の状況

株式情報 (2021年1月31日現在)

- 発行可能株式総数 68,800,000株
- 発行済株式の総数 29,057,600株
- 株主数 18,591名
- 大株主の状況

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--|------------|--------|
| 金 武 祚 | 3,633,300株 | 12.50% |
| 江崎グリコ株式会社 | 732,000株 | 2.51% |
| 益 田 和 二 行 | 698,300株 | 2.40% |
| モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 | 695,646株 | 2.39% |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 694,600株 | 2.39% |
| 金 英 一 | 649,000株 | 2.23% |
| 益 田 美 玲 | 583,300株 | 2.00% |
| 金 湧 淑 | 526,700株 | 1.81% |
| 金 千 尋 | 509,100株 | 1.75% |
| 三菱商事株式会社 | 400,000株 | 1.37% |
| ロート製薬株式会社 | 400,000株 | 1.37% |
| CREDIT SUISSE SECURITIES (EUROPE) LIMITED MAIN ACCOUNT | 400,000株 | 1.37% |

株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 毎年8月1日から翌年7月31日まで |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年7月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年1月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年10月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 |
| 同連絡先 | 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により掲載いたします。 |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。

会社概要

会社概要 (2021年1月31日現在)

- 社 名 株式会社ファーマフーズ
- 本 社 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電 話 075-394-8600
- 設 立 1997年9月12日
- 資 本 金 20億3,763万円
- 連結従業員数 235名(2021年1月31日現在)
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売、通信販売、バイオメディカル事業

役員 (2021年1月31日現在)

| | |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 金 益 田 武 祚 |
| 専務取締役 | 堀 井 江 和 典 |
| 常務取締役 | 青 井 上 泰 正 |
| 取締役 | 佐 村 信 義 |
| 社外取締役 | 山 根 哲 貴 |
| 社外取締役 | 伊 井 野 貴 大 |
| 常勤監査役 | 西 辻 本 真 |
| 常勤監査役 | 八 田 信 男 |

株式会社ファーマフーズ



第24期 中間報告書

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年4月

代表取締役社長 金 武 祚

ここに、当社第24期第2四半期連結累計期間(2020年8月1日から2021年1月31日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

各事業の四半期業績推移

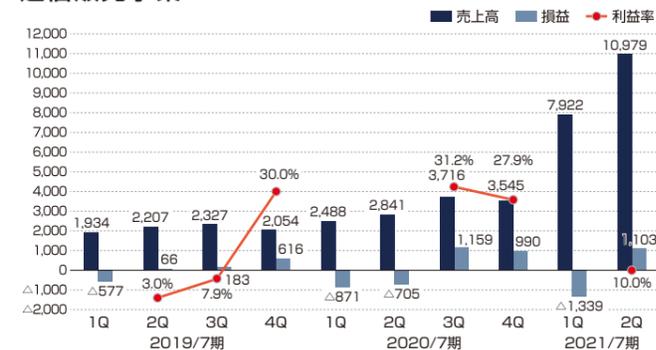
機能性素材事業



単位：百万円

当社の主力商品である「ファーマギャバ®」は、メーカー等の発注タイミングの影響で前期末に出荷が集中したことにより、前年同期比で減少していましたが、大手飲料メーカー向けの記憶力向上を訴求した緑茶飲料に出荷されたことなどにより、当第2四半期連結累計期間では堅調に推移いたしました。OEM事業は、国内を中心に当社の機能性食品素材を配合したヘルスケア企業向けダイエット食品等への製品供給が増加いたしました。

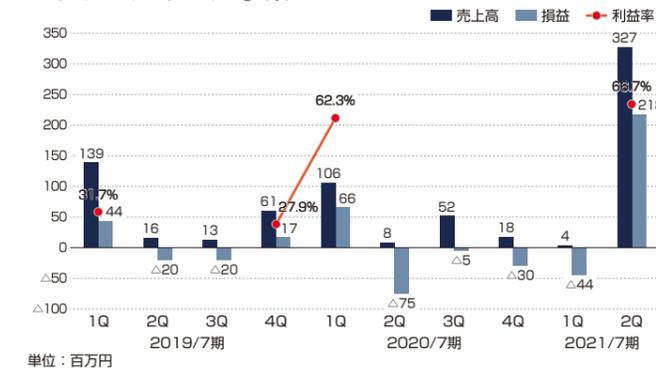
通信販売事業



単位：百万円

当第2四半期連結累計期間においても、広告宣伝を上期に集中投資し、下期で利益回収する「通期黒字化モデル」を継続しており、2021年1月末時点で、定期顧客件数は770,870件となりました。当初想定と比べ高い顧客獲得効率を記録したため、機会を逃さず過去最高額の広告宣伝投資を実施いたしました。クロスセル施策及び解約率の低下効果もあわせ、「通期黒字化モデル」の「利益回収の早期化」及び「利益水準の上昇」が、売上高及び利益の増加につながりました。

バイオメディカル事業



単位：百万円

「自己免疫疾患プロジェクト」において、2018年10月より2年間、田辺三菱製薬株式会社と抗体医薬に関する共同研究を推進してきました。本結果をもとに、当社と田辺三菱製薬は、独占的ライセンス契約を締結しました。今後は、開発段階に応じた開発マイルストンの支払いを受けることとなり、さらに、この医薬品が5兆円超の自己免疫疾患市場へ上市された場合、全世界における販売額に応じたロイヤリティと販売マイルストンの支払いを受けることとなります。

TOPICS 2021.2.12 東証1部に上場しました

当社は2021年2月12日をもちまして、東京証券取引所市場第1部へ指定されることとなりました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係者皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私たちは、売上高が21億円であった2016年、「112プロジェクト」をスタートしました。「売上高100億円」、「東証1部上場」、「第2研究所」、この「ビジョンを共有」するためには、繰り返し言い続けることで社員全員に浸透できるものと考えました。

その結果、2019年7月期に売上高105億円、2020年7月期に第2の研究所として創薬研究所が稼働、2021年7月期に東証1部上場を果たし、「112プロジェクト」を達成しました。

今、私達には「勢い」があります。しかし、今後売上高1,000億円を超える企業を目指す場合、簡単にはできないと思います。そこで、どうすれば良いか、いろいろ考えました。

たどりついた答えは、各事業の各製品が「市場でナンバー1になること」です。そのためには「自分たちの強みは何か」をよく分析し、「その強みを強化し続けること」、これが実現化のカギになると考えています。

①機能性素材事業では、開発、生産、営業が一体となりあらゆることを行う。開発は引き続き新機能を究明、生産は大量生産-コストダウン、営業は世界中で大口径販売を行い、市場でNO.1となる。例えば「ファーマギャバ®」は、GABA売上世界ナンバー1となりました。

②通信販売事業では、「発明企業の通信販売」という位置付を明確にし、科学的に裏付けされた商品開発をすること。そしてメディアへの発信関係全てにおいて、さらにはお客様対応全てにおいて、市場でナンバー1となる。また、利益率を重視し、利益確保したものを再度大きく投資するサイクルを確立する。例えば「ニューモ®育毛剤」は、2020年ヘアケア分野で売上日本ナンバー1となりました。

③バイオメディカル事業では、ニワトリから抗体を作製する「ALAgene® technology (アラジンテクノロジー)」というナンバー1の技術で、ファースト・イン・クラスの抗体に挑戦しています。この技術でグローバル製薬メーカーと提携する、この気概を持ってこそ、世界に通ずるドラッグ・ディスカバリー開発集団となり得ます。

各事業がそれぞれの市場でのナンバー1になれば、売上だけでなく利益が大きく確保できます。その時初めて輝かしい「エクセレント・カンパニー」になれます。

「Be Bold ~リスクを恐れず大胆に~」
今後も皆様のご期待にお応えできるよう、グループ一丸となって大胆に挑戦し続けてまいります。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 金武祐



東証アローズ内のスタジオから生中継

上場当日、ストックボイスに生出演しました。

当日の様子は、「Youtube」にてご覧いただけます。

右のQRコードからアクセス



新素材 ごまから開発！脂肪吸収抑制素材「リピスマート」

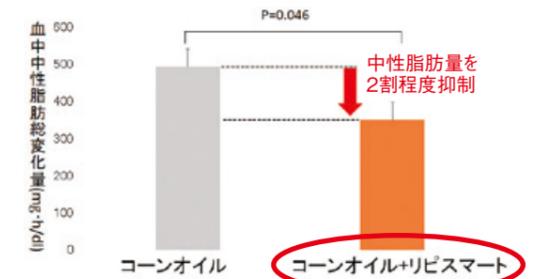
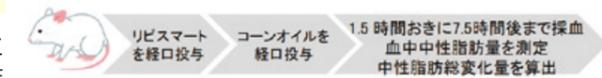
①リピスマート™とは？

ごまに独自の特殊加工を行うことにより、リピスマート™を開発しました。(特許出願中)



②動物試験

リピスマートをラットに経口投与したところ、中性脂肪量が2割程度抑制されました。

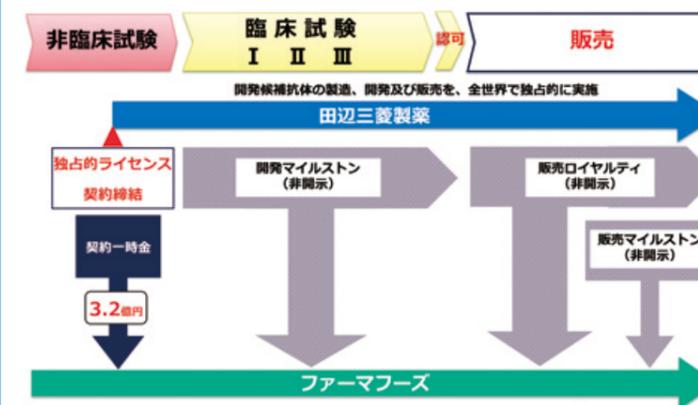


③2021年販売開始

リピスマートは比較的低用量でも効力があります。熱に強く、溶解しないが、ゆでるなどした際に食材に残留するといった利点を訴求し、サプリメントや加工食品などを手がける企業に提案を進めていきます。

提携 田辺三菱製薬との独占的ライセンス契約を締結

2018年10月から開始された田辺三菱製薬株式会社との共同研究では、自己免疫疾患の動物モデルで高い薬効を示す開発候補抗体を取得することに成功しました。この結果をもとに、2021年1月26日に独占的ライセンス契約を締結し、医薬品としての開発を進めることになりました。



今後は、開発段階に応じた開発マイルストンの支払いを受けることとなり、さらに、この抗体医薬品が5兆円にも及ぶ自己免疫疾患に対する抗体医薬市場へ上市された場合、全世界における販売額に応じたロイヤルティと販売マイルストンの支払いを受けることとなります。

ファーマフーズの創薬ライセンス導出は初めてのことで、当社のALAgene®テクノロジーが医薬品開発に有用であると認められたことから、製薬企業からますます注目されることが期待できます。引き続き、研究員一同頑張っていきます！

バイオメディカル部 斉藤

